

南河内地区 支援部会

「自尊感情を高める学級づくり

～支援を要する子どもを通常の学級の子どもとどうつないでいくか～」

○講師 園田 雅春先生 (びわこ成蹊スポーツ大学)

南河内地区支援教育研究会 講演会

自尊感情や、支援を要する子どもが豊かにつながる学級づくりについて、事例を出しながらご講演いただいた。

○自尊感情

『被尊感情（大事にされている実感）→自尊感情』

まずは大事にされていると実感させることが大切である。

そのために、、、

子どもの行動を「①キャッチ」→「②価値づけ」→「③4倍アナウンス」する。

※③とは、「1」感動したことを「4」の気持ちで伝えること。

（「5」にすると嘘っぽくなってしまい、子どもも感じ取る。）

3つの自尊感情A・B・Cがある中で、Cが一番大切。

Cとは、、、「そこにいるあなたが大切だ」という絶対的自尊感情。

（できるできないではない）

○支援を要する子どもが、豊かにつながる学級づくり

3つの学級

- ・大豆型学級…一つひとつがバラバラ
- ・豆腐型学級…押し固められている

☆納豆型学級…一つひとつがつながり合っている（自立+つながり）

子どもたちが「つながる」には「つなぎ=Bo(ボンド)」が必要

- ・人 Bo（教師、子どもがつなぐ）
- ・文化 Bo（授業、行事、遊びがつなぐ）
- ・第3の Bo（つらい経験の共通点がつなぐ）

最後に園田先生から、

『一人の子どもを粗末にすると、その学校は光を失い、その地域は未来を失う』

という言葉をいただき、講演会は終了した。

